

令和2年7月20日

農学部・農学研究科
学生の皆さんへ

農学部長 酒井 正博

農学部・農学研究科における新型コロナウイルス感染対策について

7月15日付で「農学部・農学研究科における新型コロナウイルス感染対策について」を更新し、宮崎県外への移動の手続きについてお知らせしたところです。学生の皆さんには、面倒をおかけしていますが、ご協力に感謝します。

このところ、首都圏や関西地区における新型コロナウイルスの感染者数が急激に増加しており、また、本学部の学生さんがこれらの地域へ移動する件数が増えています。就職活動の時期であるため致し方がないことと理解はしていますが、学部内の感染対策は一段階踏み込むことが必要と判断しました。

については、農学部・農学研究科では、当面の間、県外への移動について3段階に分けた対策をお願いします。今回の対策を取るに当たって、申請のための様式を変更します。農学部ホームページからダウンロードして使用してください。

引き続き、皆さんのご協力をお願いします。

1. 移動する地域によりレベルを3段階に分け、それぞれのレベルで感染対策を行います。

レベル1 レベル2およびレベル3に指定されていない地域。

レベル2 北海道、福岡県、鹿児島県（これらの道県を経由する場合を含む）

レベル3 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府（これらの都府県を経由する場合を含む）

○レベル1の地域に移動する場合は、事前に離県届/伺を教務・学生支援係に提出してください。教員所見や学科長印は不要ですが、移動する事実を指導教員あるいはクラス担任に必ず伝えてください。感染モニタリングのため、帰県後は2週間の健康観察を行ってください。

○レベル2の地域に移動（経由する場合も含みます）する場合は、これまで通り、事前に離県届/伺を学科長に提出し、了承を得てください。また、感染モニタリングのため、帰県後は2週間の健康観察をしてください。

○レベル3の地域（経由する場合も含みます）する場合は、離県届/伺により学科長から事前に了承を受けるとともに、帰県後、まずは1週間の自宅待機をお願いします。自宅待機中は不要不

急の外出をしないでください。健康観察期間は、その他レベルの地域と同様に、2週間です。新型コロナウイルス感染症に特徴的な症状が1週間現れない人は、1週間後からの登校を認めます。指導教員あるいはクラス担任に体調チェックシートを提出し、登校の許可を得てください。許可を得た後も、引き続き、体調観察を継続してください。

上にもあるとおり、都市部では市中感染による感染拡大も懸念されており、より深刻な状況にあると考えています。そのことを踏まえて、県境を超えた移動については指導教員等とよく相談し、その必要性を十分に精査してください。止むを得ず移動する場合には、基本的な感染予防（マスク着用や手洗い、ソーシャル・ディスタンス）を確実にいき、移動先での軽率な行動は厳に慎んでください。

また、離島の有無に関わらず、日々の体調確認を行い、不調を感じた場合には時間をおかず指導教員、教務・学生支援係などに相談してください。

規制の対象とする地域は、感染者の発生状況等により不定期に変更します。農学部のホームページを小まめに確認してください。

2. 不要不急の旅行は控えてください。

8月17日（月）から21日（金）は定期試験の期間です。試験の受験に支障がでないよう、真に必要なでない旅行（帰省を含む）は当分の間、控えてください。とくにレベル3の地域への旅行については、事前に指導教員・クラス担任あるいは教務・学生支援係に相談してください。

3. 学内ではマスク着用と小まめな手洗いを

対面での授業や実験・実習やクラブ・サークル活動、アルバイトの機会なども増え、制約は残るものの、日常的な生活を取り戻しつつあります。しかし、ひとたび学内での感染拡大が起これば、大学の生活は緊急事態宣言時の状況に戻ります。もう一度、「うつらない」「うつさない」ために必要な行動を、一人ひとりが確実にとるようお願いします。

感染症の予防ではマスクの着用と手洗いは基本中の基本です。また、他人との距離にも気を付けてください。毎日の検温や体調確認を継続し、体調の変化や体調不良を感じたときは、クラス担任、指導教員、教務・学生支援係、安全衛生保健センターなどに相談してください。

新型コロナウイルス感染症は病気ですので、早く気付くに越したことはありません。日々、自分の身体と健康に関心をもって生活してください。

「宮崎大学における新型コロナウイルス感染対策について（7月15日更新）」
http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/images/pdf/orien/R020715_.pdf

以上